



原っ子つうしん

教育目標：～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

令和6年
2月9日(金)
印西市立原小学校
校長室便り
〈第10号〉

<学校教育目標>

人間性豊かな、考え行動できる心身ともにたくましい子どもの育成
～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

パラスポーツ体験

先日、4年生は総合的な学習において、順天堂大学の学生を招いて「パラスポーツ」を体験しました。ご存じのように、パラスポーツとは、障害のある人のために考えられたスポーツや障害の有無に関わらず取り組めるスポーツについて広く表す言葉です。一般のスポーツのルールを一部変更したり、用具を用いて工夫したりすることで、楽しく安全にス



ポーツを行えるようにしているほか、ボッチャなど、もともと障害のある人のために考え出されたスポーツもあります。4年生は、この学習を通して様々なことを学びました。私たちは一人一人違いますが、いろいろな人が住みやすい社会をつくっていかねばなりません。そのためにも、自分ができること、みんなで協力してできることを考えて行動していくことが大切だと思います。将来、そのようなことができる児童をめざし、職員一同努力してまいります。

野球しようぜ 以下は、メジャーリーガーの大谷選手からいただいた手紙の一部です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを臨んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し野球を楽しんでもらうために、私からこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。 大谷翔平



以下は、先日の全校集会で、私が全校児童に伝えた内容です。

最近、朝は本当に寒いですね。朝、布団から出ようとしたとき、「このままもう少し寝ていたい。」と思う人も多いでしょう。私も「もう少し寝ていたい。」と、誘惑に負けてしまいそうになる時があります。けれども、私たちは、普段から自分を鍛えていかなければなりません。誘惑に負けてしまうと、結局、人から信頼されないからです。信頼される人になるには、時間を守る人になりましょう。もしかしたら、人には言いづらいような理由があって、時間を守れなくなっている人もいるかもしれません。その人は別ですが、まずは、遅刻をしないことが大切です。前に、あるテレビ番組を見ていたら、ある会社の担当者が、「どんな人を採用したいですか。」と聞かれて、「挨拶ができ、時間を守る人」と答えていました。

私も、原小学校の全ての子どもたちが、将来「挨拶ができ、時間を守る」立派な社会人になってもらいたいと思います。